

第4回国府地域振興会議（視察研修）

日時：令和3年10月18日（月）13:00～
場所：国府町総合支所 第1会議室、国府町内

（日程）

1 報告事項 「国府支所だより」の見直しについて … 別添資料
秘書課広報室が説明

2 視察研修

（1）参加者 国府地域振興会議委員、国府町総合支所職員

（2）行程

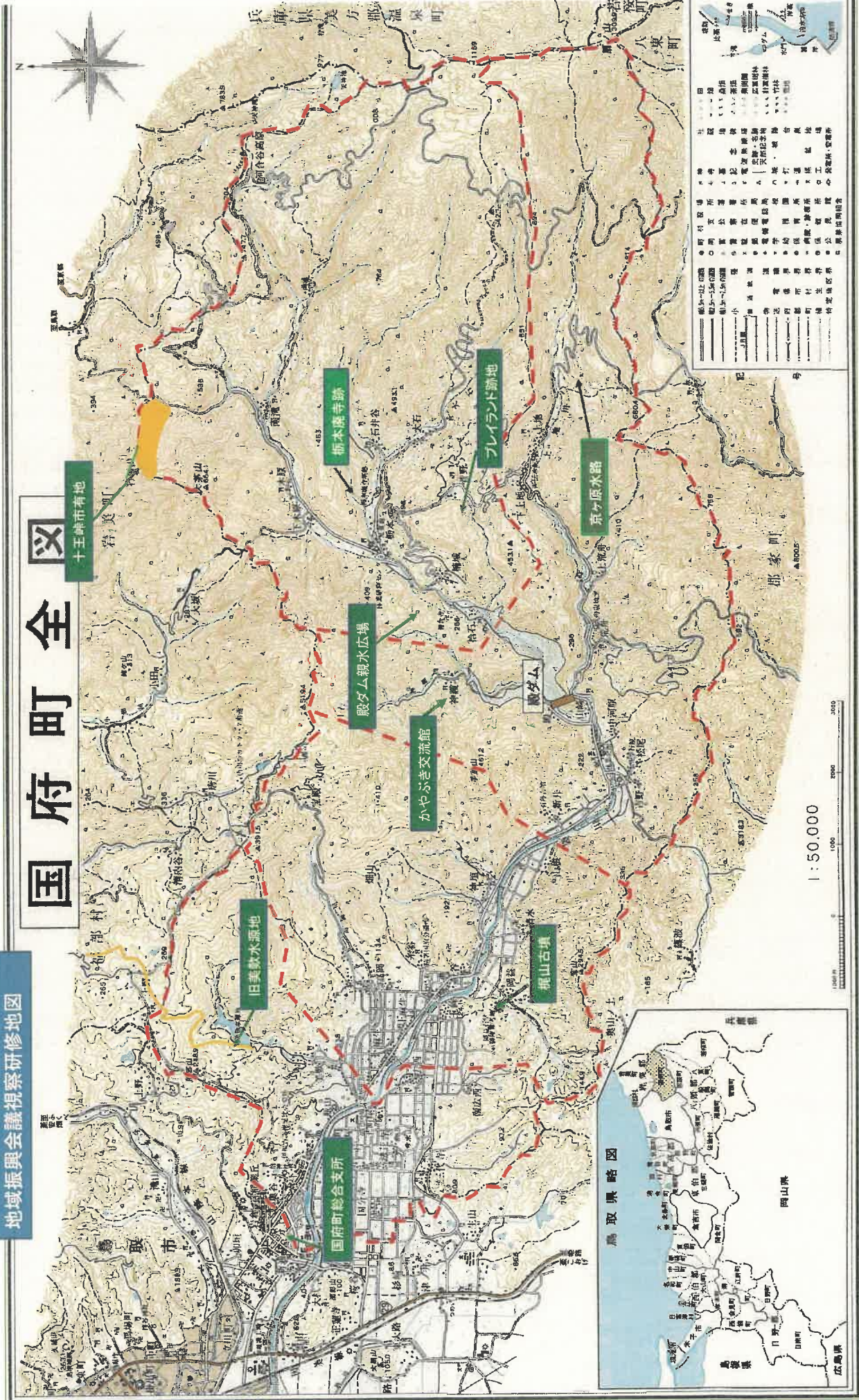
国府町総合支所 出発 13:30
↓ 移動
①かやぶき交流館視察
↓ 移動
②殿ダム親水広場プール視察
↓ 移動
③十王峠市有地視察
↓ 移動
④栃本廃寺視察
↓ 移動
⑤京ヶ原水路視察
↓ 移動
⑥梶山古墳視察
↓ 移動
⑦旧美敷水源地水道施設視察
↓ 移動
国府町総合支所 解散 16:30（予定）

（3）資料

- 地図 … P1
- 視察目的地の概要 … P2～5
- その他関連資料 チラシ、パンフレット

地域振興会議視察研修地図

国府町全図



1 : 50,000

視察研修目的地の概要

① 神護かやぶき交流館

殿ダム水源地域整備ふるさとづくり事業として、生活再建と集落活性化の早期実現を図ることを目的に整備。(H16～18年度)

■神護ふるさと村(管理運営主体:神護自治会) 【平成19年4月運営開始】

- ・「神護かやぶき交流館」 木造平屋茅葺(いろりの間、客間、炊事場、風呂、トイレ)
- ・「簡易宿泊施設」 木造平屋瓦葺 2間(トイレ付き)
- ・「水車小屋」 木造平屋瓦葺(石臼2個、作業場) 【※水車は解体撤去済】

② 殿ダム親水広場

市民が溪流釣りや水辺で川に親しむことができる施設として平成25年に殿ダム周辺整備事業により整備された。国府フィッシングフェスタ会場のほか、随時一般開放できる施設として利用されている。現在、指定管理者(吉田建設株式会社)が維持管理及び運営業務を行っている。(P4・5にフィッシングフェスタ会場の写真を掲載)

③ 雨滝十王峠の県・市共有地

産業廃棄物処理対策として、平成4年に県と市(旧国府町)が取得した28.3haの土地。

この土地の活用については、平成8年度から旧国府町で検討が進められていたが、県の同意が得られず事業は断念され、今日に至っている。

現在は、県道鳥取国府岩美線(十王峠工区)改良事業に係る残土の仮置き場として使用されている。

④ 栃本廃寺

栃本集落のはずれにあり、現在は、東塔心礎、西塔心礎と呼ばれる東西の心礎(塔の中心柱の台となる礎石)が残されている。

これまでの発掘調査で、院内の建物の配置が明らかとなり、平成16年2月に栃本廃寺跡として国の史跡に指定された。

白鳳時代(7世紀後半～8世紀初め)の寺院と推定される。

⑤ 京ヶ原水路

扇ノ山(1,310m)の中腹、標高約600mに位置する上地集落には、小さな棚田が折り重なるように広がり、自然と人の手による独特の景観が造り出されている。この棚田に水を引く「京ヶ原水路(全長約4km)」は江戸時代末期に完成した歴史的な土地改良施設である。

以前は30軒あった農家も現在では3軒にまで減少し、水路の泥や石、倒木などを取り除く維持管理作業が困難となったため、「まちとむらの交流事業」として、平成12年から一般の方や町内業者、学生人材バンク等のボランティアや、鳥取大学の授業の一環として水路の保全活動に参加いただくことを通じて地域活性化やまちとむらの交流促進を行っている。

■活動時期 年2回(4月下旬:水路清掃、8月下旬:水路草刈り)

⑥ 梶山古墳

岡益集落の西南の小高い丘にあり、全長 9 m、幅 1.5m の横穴式石室を主体とする。昭和 53 年。奥壁で中国地方初めての彩色壁画が発見され、全国的な話題となった。築造年代は、6 世紀末から 7 世紀初めと推定される。

⑦ 旧美敷水源地水道施設

大正 4 年に山陰地方で最初に建設された近代水道施設である。

昭和 53 年に停止するまで、市民の飲料水や蒸気機関車への給水等で市の発展に貢献した。

施設の保存状態が良く歴史的な価値が認められたため、平成 19 年に国の重要文化財に指定されている。

国府フィッシングフェスタ写真



